第９期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画　評価表（令和８年度中間評価）

基本目標５　認知症の早期対応と共生社会をめざす施策の推進

評価項目	年間 目標値	中間 実績値	数値 達成度	事務局 総合評価
認知症サポーター養成講座（地域包括支援センター主催）新規受講者数	120 人	14 人	×	C
	R7 中間評価	68人	×	C
	準備や広報等周知の兼ね合いで 9 月以降の実施が多いため、中間報告では実施済が２つの地域包括支援センター分の 14 人となった。			
地域はつらつ講座延べ参加者数	600 人	155 人	×	C
	R7 中間評価	116 人	×	C
	目標値には未達。既に７回開催されており、９月と 10 月に１回ずつ開催予定。			

【 数値達成度 （対目標値） 】

◎　100%以上の達成度合

○　75%以上 100%未満の達成度合

△　50%以上 75%未満の達成度合

×　50%未満の達成度合

【 総合評価 （目安） 】

A　優れた創意工夫等を行い、目覚ましい効果を上げることができた

B　創意工夫等を行い、一定程度の効果を上げることができた

C　課題解決に向け、改善に取り組んでいるが不十分である

D　課題が解決されず、効果が上がっていない

総合評価
C

担当部署コメント

認知症サポーター養成講座（地域包括支援センター主催）について、地域からの依頼による講座開催も含め、広報やＳＮＳを活用して周知を進め、認知症に対する正しい理解、具体的な対応方法等を伝えていく。地域はつらつ講座については、団体からの依頼事業のため地域包括支援センターごとで開催数が偏る。実施回数が少ない地域については、地域包括支援センターから地縁団体等に呼びかけるよう働きかけていく。地域とのつながりや、介護保険や認知症について知っていただく大切な機会である。地域包括支援センターの負担も考慮し、今後この事業の内容や実施方法を検討していく。

評価委員会評価

認知症サポーター養成講座新規受講者数について、地域において、中学生も頼りになる存在となる。企業、学校等での講座の開催は、広めるという意味においては有効な手段である。
第１０期計画では、個々の事業で評価目標を決めていくことも重要だが、目的を達成するために関連事業全体での評価という側面からも、評価指標を検討してほしい。